

鳥取県の県政に関する県民意識調査（概要）

平成28年12月22日

鳥取県 元気づくり総本部 県民課

【アンケート結果の概要】

- 調査対象者：鳥取県内在住の18歳以上の者2,746人（震災のため倉吉市を除く）
- 抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- 回答数：1,334人（回収率48.6%）
- 性別：男性575人(43.1%)・女性732人(54.9%)
- 年齢：18～19歳(0.8%)、20～29歳(7.8%)、30～39歳(11.2%)、40～49歳(18.1%)
50～59歳(19.5%)、60～69歳(24.2%)、70～79歳(9.8%)、80歳以上(6.7%)
- 調査期間：平成28年10月31日～11月25日
- 調査方法：アンケート調査票の送付

【結果まとめ】

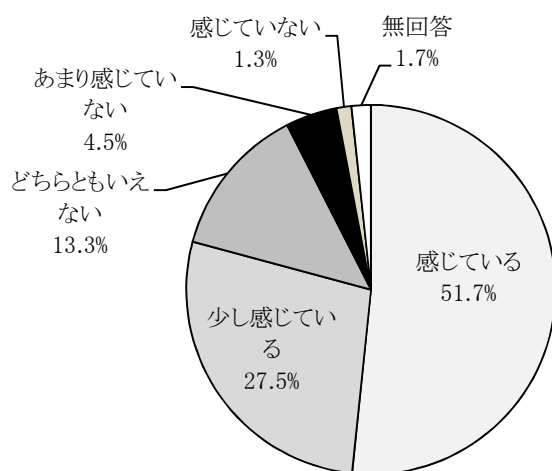
- 鳥取県に対して誇りや愛着を持っている方が多く、また豊かな自然環境に恵まれ、治安も良く、住民も親切で住みやすさを感じている。しかし、生活の中では公共交通機関の整備が遅れているという意見もある。
- 鳥取県の施策は、『観光資源を活用した誘客』『自然環境の保存・活用』『安心して出産や子育てができる環境』『地域犯罪や交通事故などを抑制・防止』『健康を守り、医療体制を強化する』等の取組は満足度が高いが、『農林水産・畜産の担い手育成』『農業の活力増進』『中山間地域の安心と元気づくり』『若者の出会い、結婚応援』『働く場を確保する取組』『暮らしやすく、まちを元気にする取組』『県内交通の高速化』等の取組には不満が高い。
- 今後優先すべき施策として、『働く場を確保する取組』『住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造』『安心して出産や子育てができる環境づくり』『中山間地域の安心と元気づくり』『農林水産・畜産の担い手育成』『健康を守り、医療体制を強化する取組』『災害に強いまちづくり・防災意識啓発の取組』が上がっている。
- 鳥取県人口の減少予測は、『知っていて関心がある』方が6割あり、今後の取組としては『雇用の場の創出の促進』『結婚や出産への支援、子育ての環境充実』『県内出身者のUターン促進』が重要だと感じている。
- 子育て施策については、出生率を上げるためには出産後の社会・職場への復帰への環境整備、保育料等の子育て世帯へ経済支援の強化を求めている。また、県の婚活支援事業に対しては肯定的な意見が多く、出会いや結婚は重要な問題であり、少子化対策にも繋がる取り組みと感じている。
- 移住定住施策としては鳥取県の住みよさをアピールしながら、就職、起業、就農など仕事の確保が重要であると答えている。
- 就業や雇用に関しては、『働く場の確保を強化すべき』と考え、今後は『農林水産・畜産』『医療・介護福祉産業』等の産業分野が必要と感じている。

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りに思う気持ちは、約8割の人が「感じている」と答えている。
- 鳥取県で、今暮らしている地域は、約7割以上の人が「住みやすい」と答えている。
- 豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約9割と圧倒的に多く、また治安も良く、住民が親切で、人と人との繋がりがあると約6割の人が答えている。
- 生活の中で公共交通機関の整備は、約半数の人が「整っていない」と感じている。

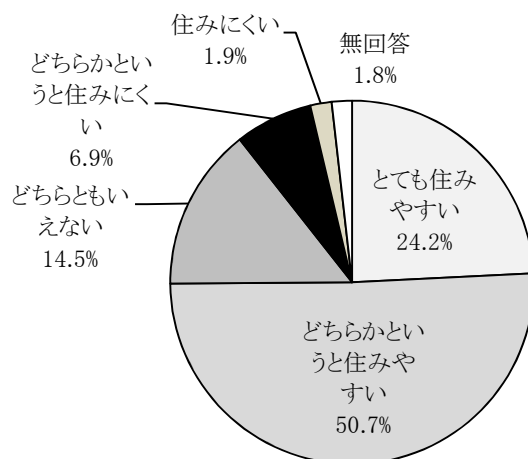
(1) 鳥取県に対しての愛着や誇りについて (問1)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約8割～



(2) 今暮らしている地域の住みやすさ (問2)

～7割の人が『とても住みやすい』・『どちらかという住みやすい』と回答している～

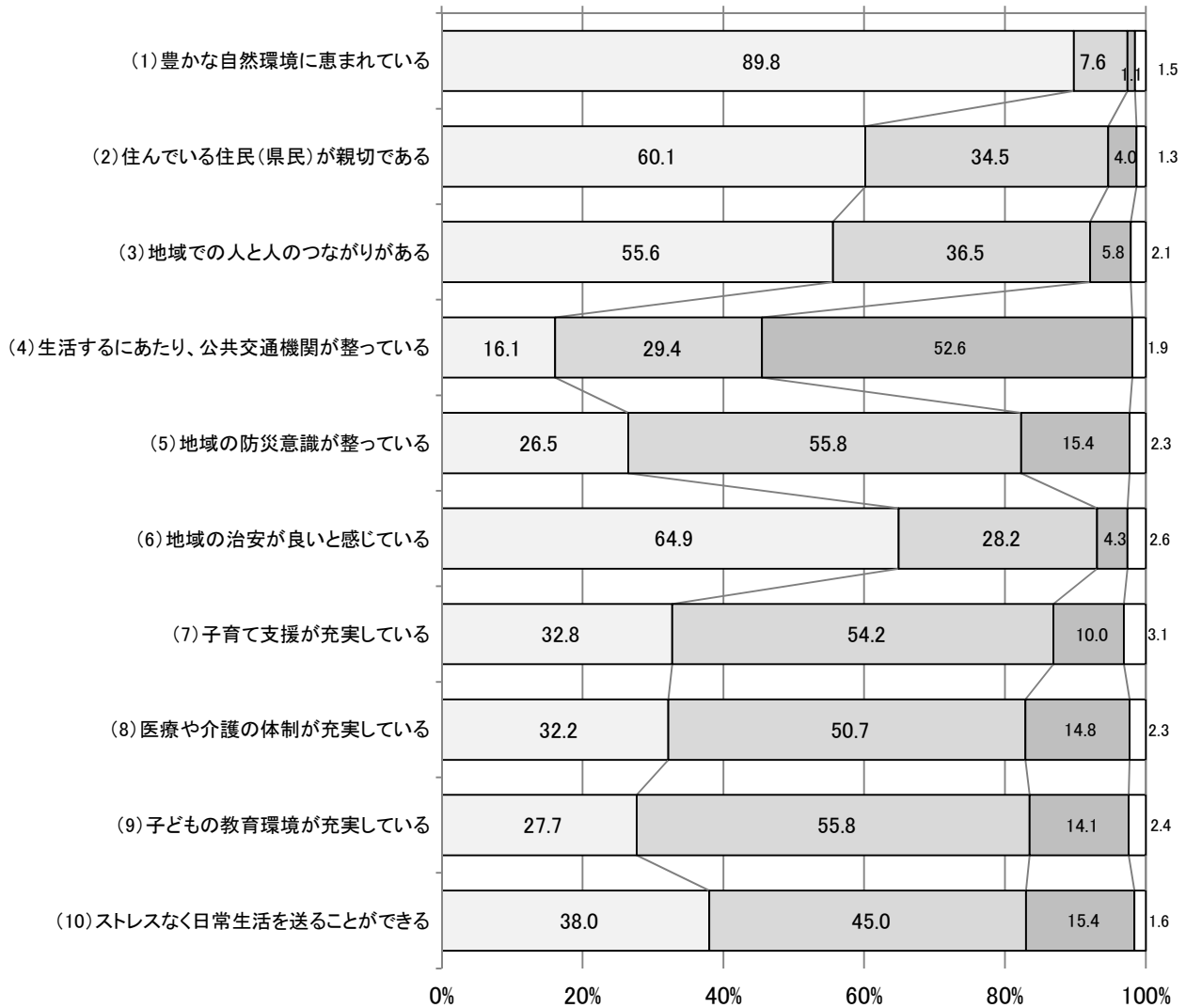


(3) 鳥取県内の暮らしについて (問3)

・豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約9割という結果になっており非常に高い。

・住んでいる住民(県民)が親切であると感じている人が6割、また、地域での人と人のつながりがあると5割以上が答えている。

・地域の治安が良いと感じている。



そう思う
 どちらとも言えない
 そう思わない
 無回答

II. 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのびと鳥取らしく生きる】

- 「農業の活力増進」「農林水産・畜産業の担い手育成」の農林水産関係、また「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」「鳥取県周辺地域と連携した観光客推進」等の観光関係に『不満』の意見が多い。しかし、「観光資源を活用した誘客の取組」「豊かな自然環境の保存・活用」「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減」等の取組には『満足』と感じている。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「農林水産・畜産業の担い手育成」「農業の活力増進」「農林水産物の販売」等の農林水産関係を優先すべきとして意見が上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「中山間地域の安心と元気をつくり出す」が『不満』の意見が最も多いが、「若者の出会い、結婚応援」「子どもたちに多様な学びの機会」「女性が活躍できる社会」も3割前後が『不満』を感じている。しかし、「安心して出産や子育てできる環境」は『満足』と感じている意見が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「安心して出産や子育てができる」「子どもたちに多様な学びの機会」「女性が活躍できる社会」等の女性・子育てに関する項目、また「高齢者や障がい者が輝ける地域づくり」「中山間地域の安心と元気をつくり出す」等の意見が上位項目となっている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「働く場の確保」「暮らしやすく、町を元気」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」「新たな産業を生み出す」等に『不満』を感じている意見が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「働く場の確保」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」の取組を5割以上の人が優先すべきと答えている。

【県政のさまざまな取組】

- 地域犯罪や交通事故等の抑制・防止や医療体制の強化については、やや『満足』と感じている人が多いが、道路網の整備等県内交通の高速化については、約4割の人が『不満』を感じている。

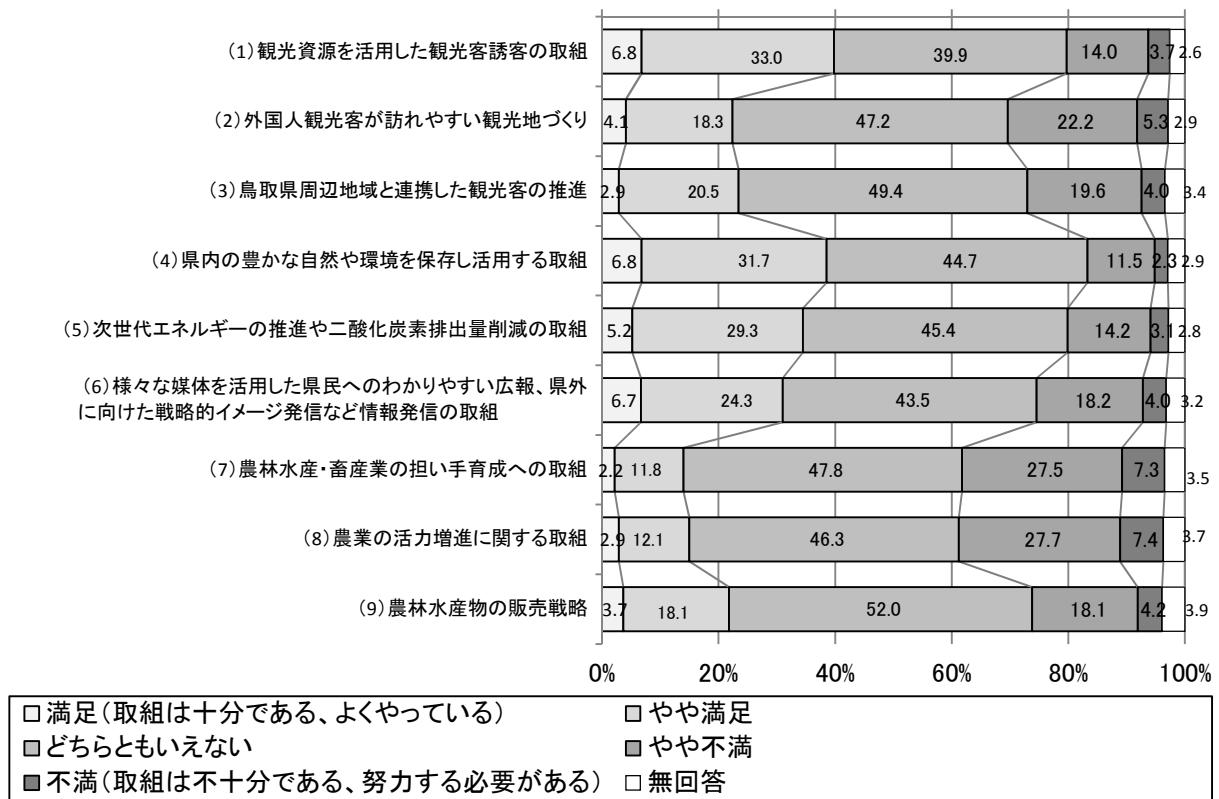
(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」「健康を守り、医療体制を強化」「県内交通の高速化」を優先すべきと4割強の人が答えている。また「子どもの学力向上」も4割弱の人が重要だと答えている。

(1-1) 豊かな自然でのびのびと鳥取らしく生きる (問4【1】)

～豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組について『満足』と感じているが

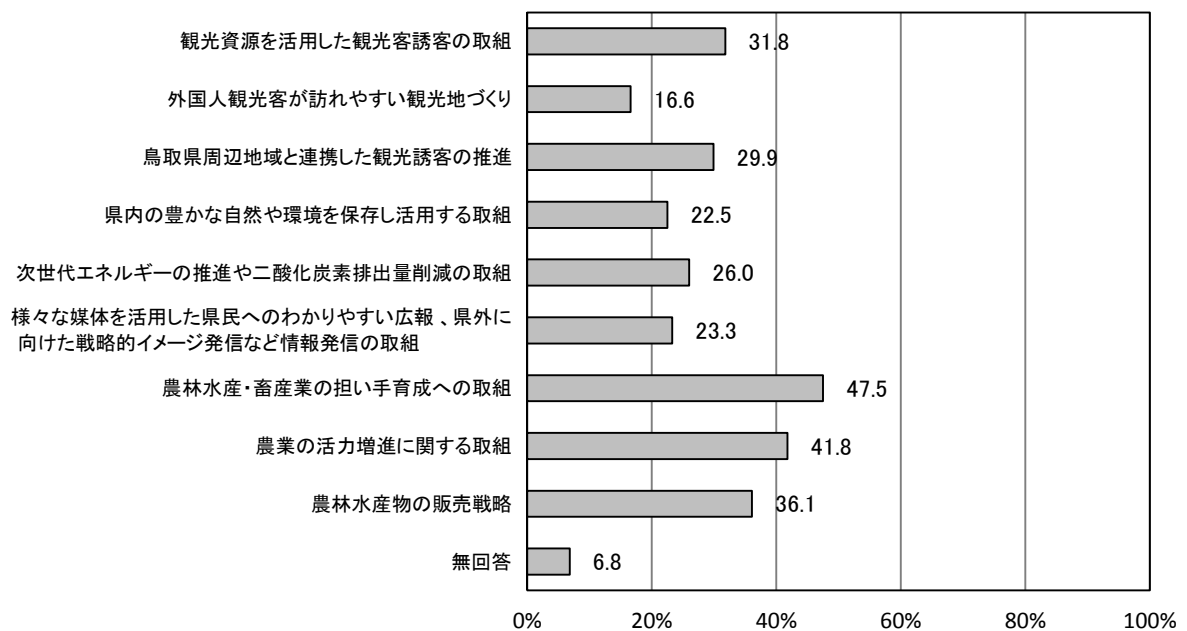
農林・畜産業の担い手育成や農業の活力増進の取組は『不満』を感じている～



(1-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～農林水産・畜産業の担い手育成や農業の活力推進について5割近くが優先すべきと回答～

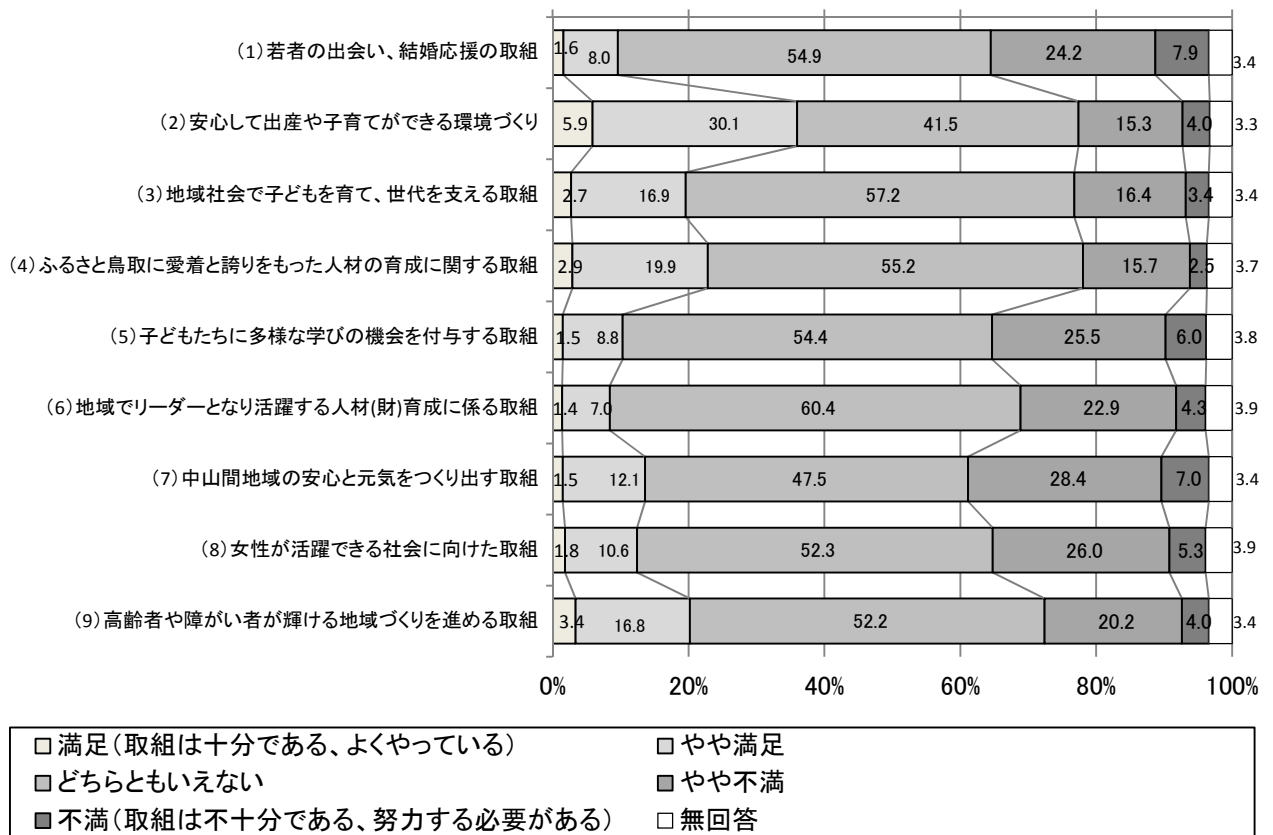
【3つまで】



(2-1) 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (問4【2】)

～安心して出産や子育てができる環境には『満足』と感じているが、

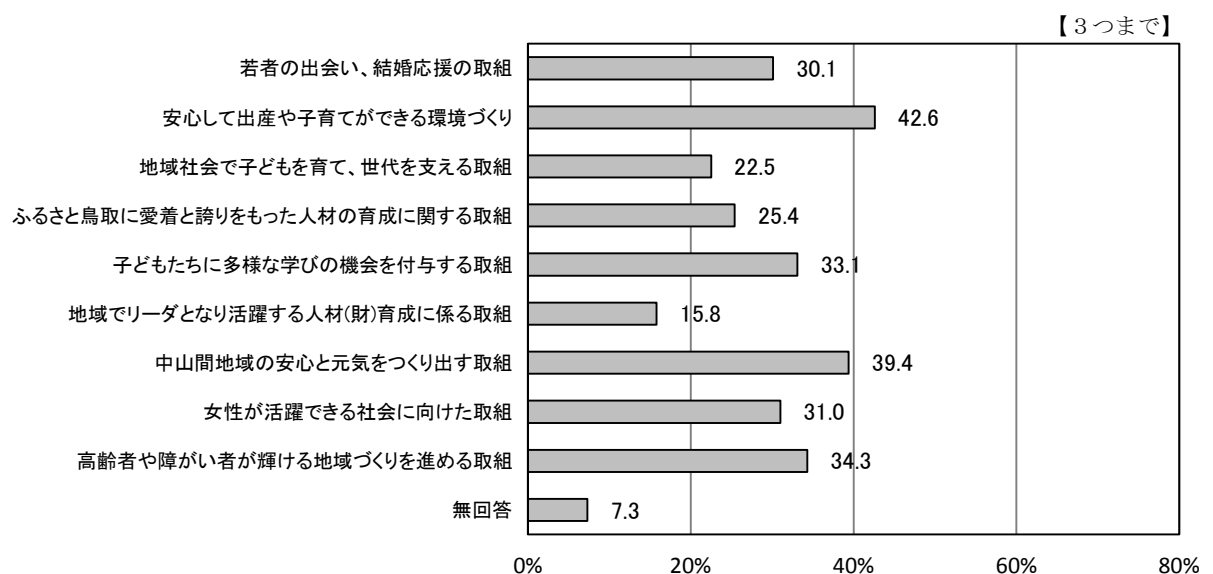
若者への結婚応援や中山間地域の支援については『不満』を感じている。～



(2-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～出産や子育ての環境づくりは4割が今後も優先すべきと回答し、

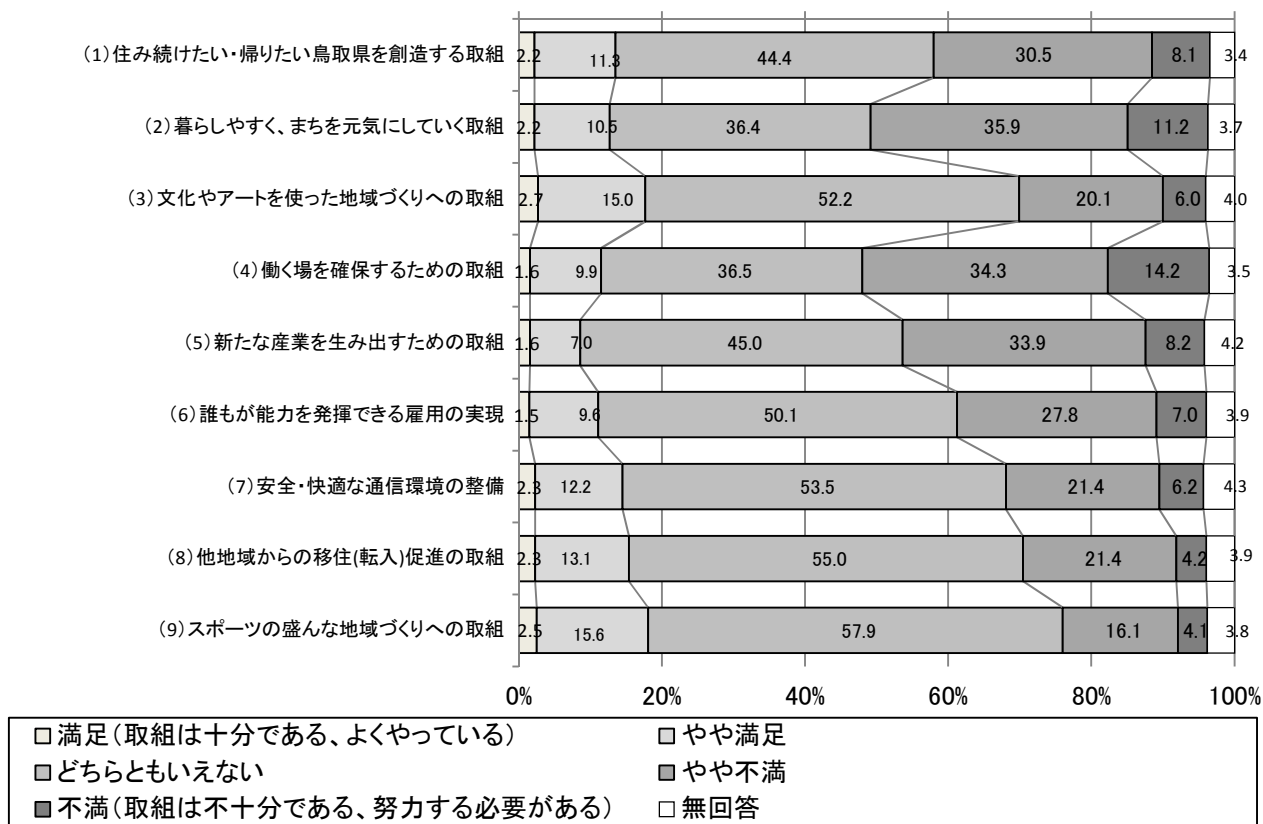
中山間地域への支援についても重要度が高いと回答～



(3-1) 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (問4【3】)

～文化やアート・スポーツ面の『満足』は感じているが、

働く場の確保や新たな産業の創出へは『不満』を感じている。～

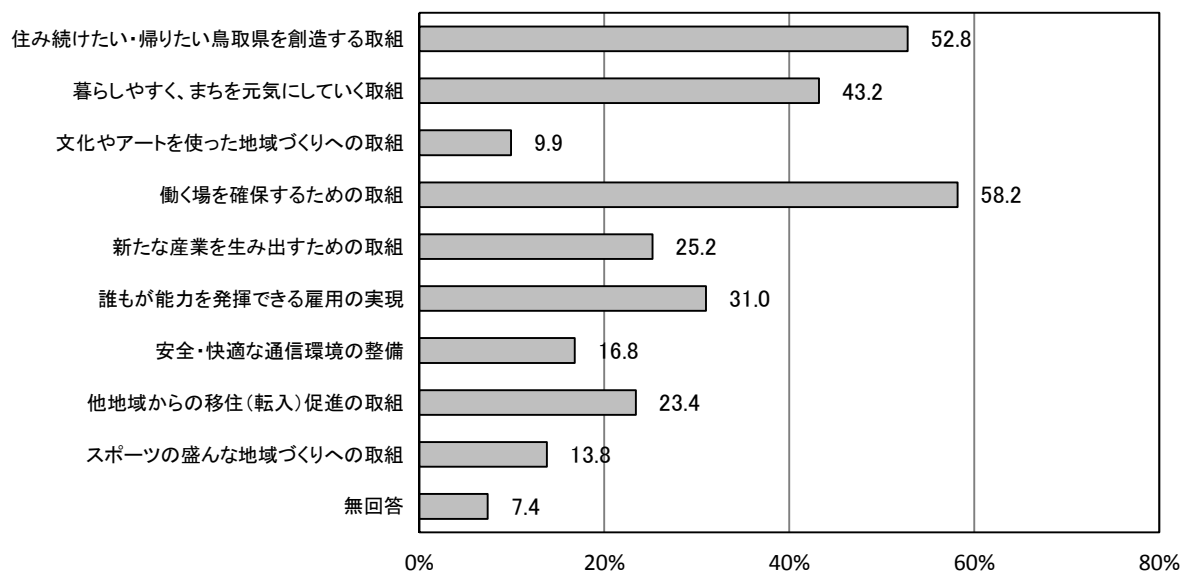


(3-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～働く場の確保等、住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造するための取組を

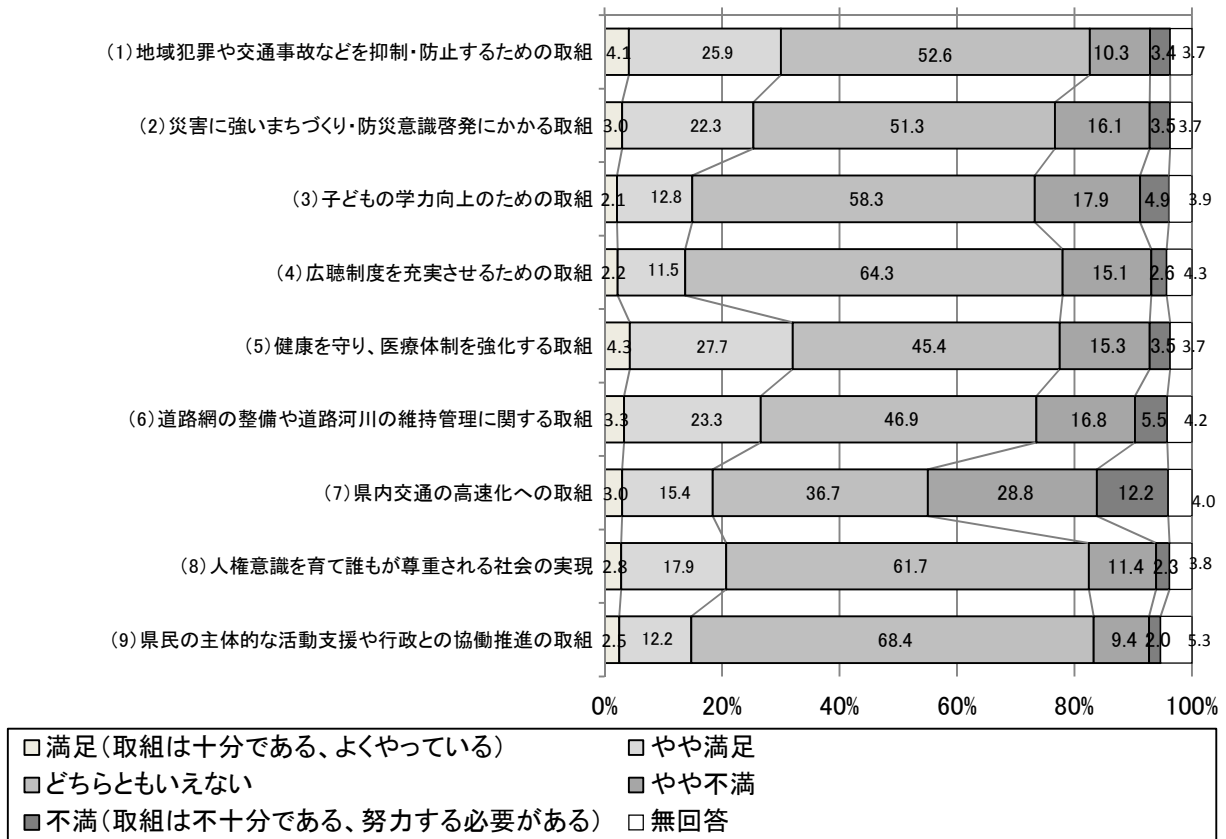
5割以上が優先すべきと回答～

【3つまで】



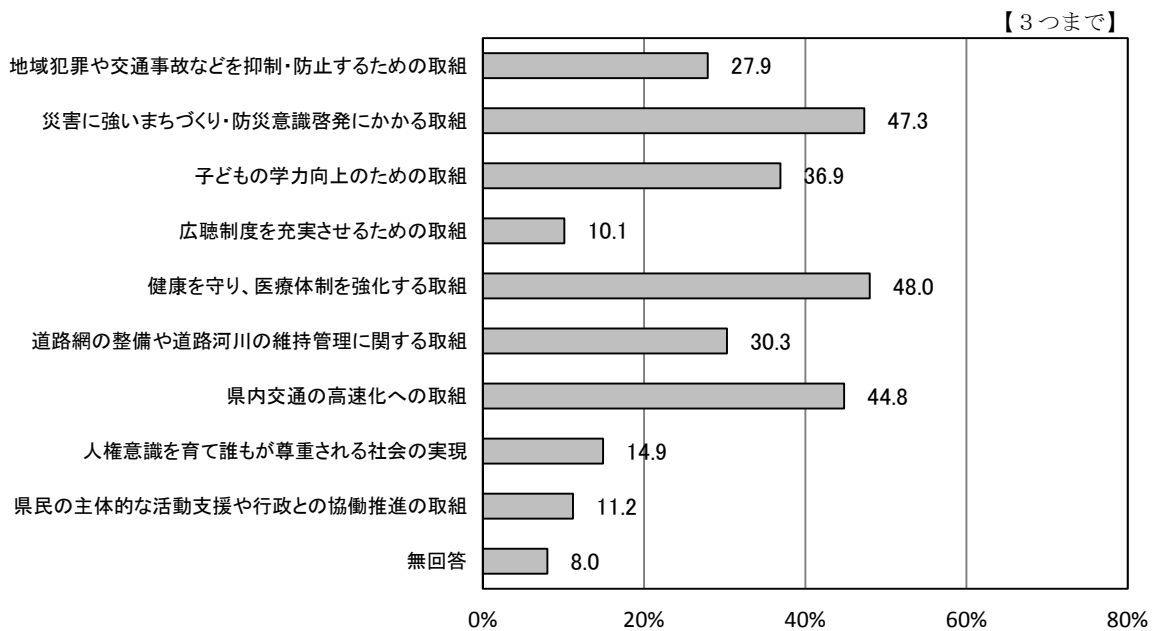
(4-1) 県政のさまざまな取組 (問4【4】)

～地域犯罪や交通事故等の抑制・防止や医療体制の強化については『満足』と感じているが、
道路網の整備等県内交通の高速化については『不満』を感じている。～



(4-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～医療体制の強化は今後も優先すべきと4割強が回答し、
災害についての啓発活動、高速化への整備を優先すべきと4割強が回答～



Ⅲ. 重点施策への関心・認識

<人口問題について>

- 鳥取県の人口減少予測について、約6割の人が「知っていて、関心もある」と答えている。
- 鳥取県の人口増への取組は、「雇用の場の創出」を優先すべきという意見が6割以上、また「結婚や出産への支援」「子育ての環境充実」「県外大学に進学した県内出身者のUターン促進」も4割が優先すべきと答えている。

<子育て施策について>

- 鳥取県の子育て施策の中では、「子育て王国とっとり」は7割以上、「とっとり子育て応援パスポート」については6割以上の人を知っていると答えている。
- 出生率を上げるために今後、強化が重要だと思う項目は、「出産・育児後のスムーズな職場復帰への環境づくり」「子どもを安心して預けられる体制の整備」「保育料の減免、子育て世帯への経済的支援」について6割強の人が強化が必要だと答えている。
- 鳥取県の婚活支援事業については、「積極的、あるいは行うべき」と7割弱が答えている。また、その理由として「出会いや結婚は重要な問題で行政の支援も必要」「少子化対策に繋がると思う」と5割弱の人が答えている。

<移住定住に関する施策>

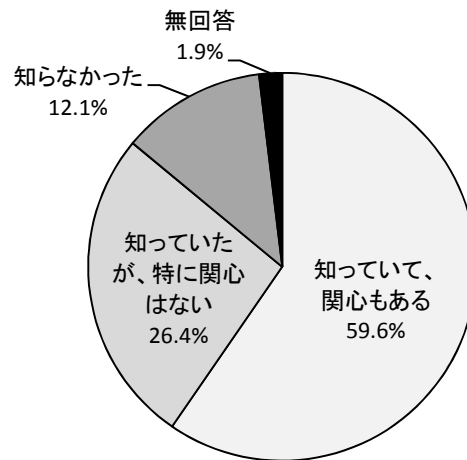
- 鳥取県の移住定住施策には、7割以上の人「就職・起業・就農などの仕事の確保」、4割前後の人が「若い世代への移住定住の働きかけ」「鳥取県の住み良さについて積極的なPR」を強化することが必要と答えている。
- 鳥取県の住みよさを県外の方へアピールするには、8割の人が「自然が豊かである」、6割の人が「食べ物の安全性が高く、美味しい食べ物が多い」、約半数の人が「治安が良く、犯罪が少なく感じる」と答え、『自然、食、安全』をアピールした方が良いと答えている。

<就業や雇用に関する施策について>

- 『鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画』は、7割以上の人「知らなかった」と答えている。
- 雇用や就業支援に関しての取組は、「企業誘致など働く場の確保」を強化すべきと6割以上が答えている。
- 今後、鳥取県において必要となる産業分野は、「医療・介護福祉産業」「農林水産・畜産業」と6割弱の人が答えている。

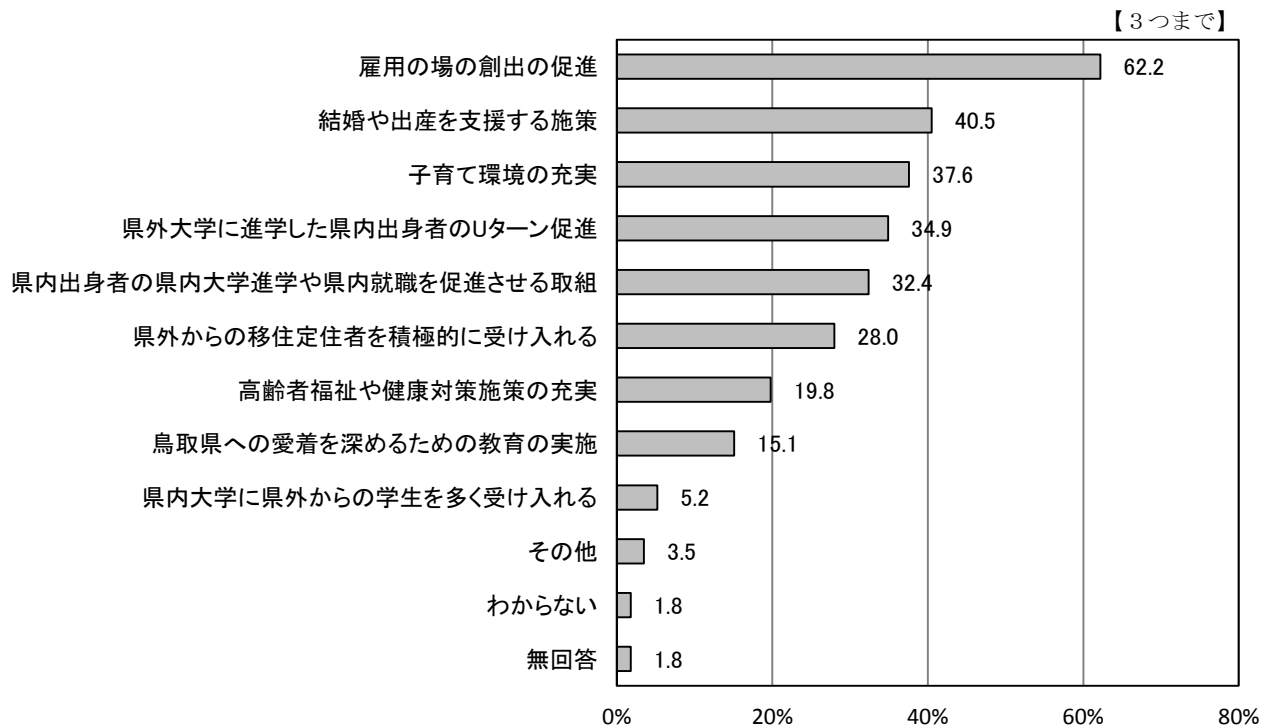
(1) 鳥取県の人口減少予測について知っているか・関心があるか（問5）

～『知っている、関心もある』と6割近くが回答～



(2) 鳥取県の人口増への取組として優先すべきと思う施策（問6）

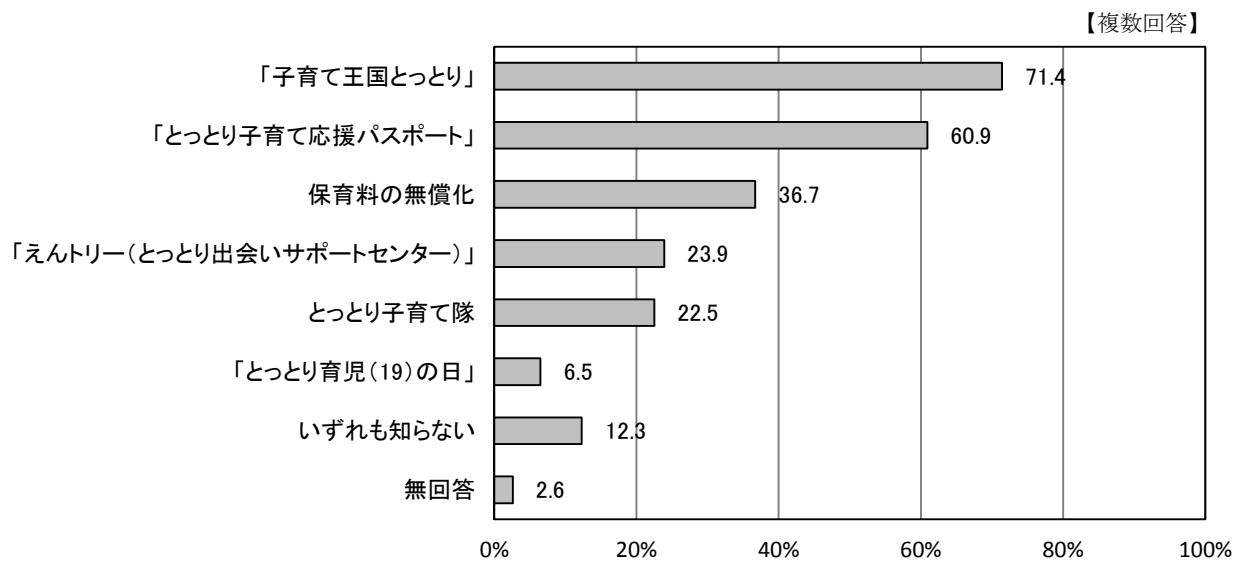
～雇用の場創出の促進を6割が優先すべきと高く、結婚や出産への支援も4割が優先すべきと回答～



<子育て施策について>

(1) 鳥取県の子育て施策の中で知っているもの・聞いたことがあるもの（問7）

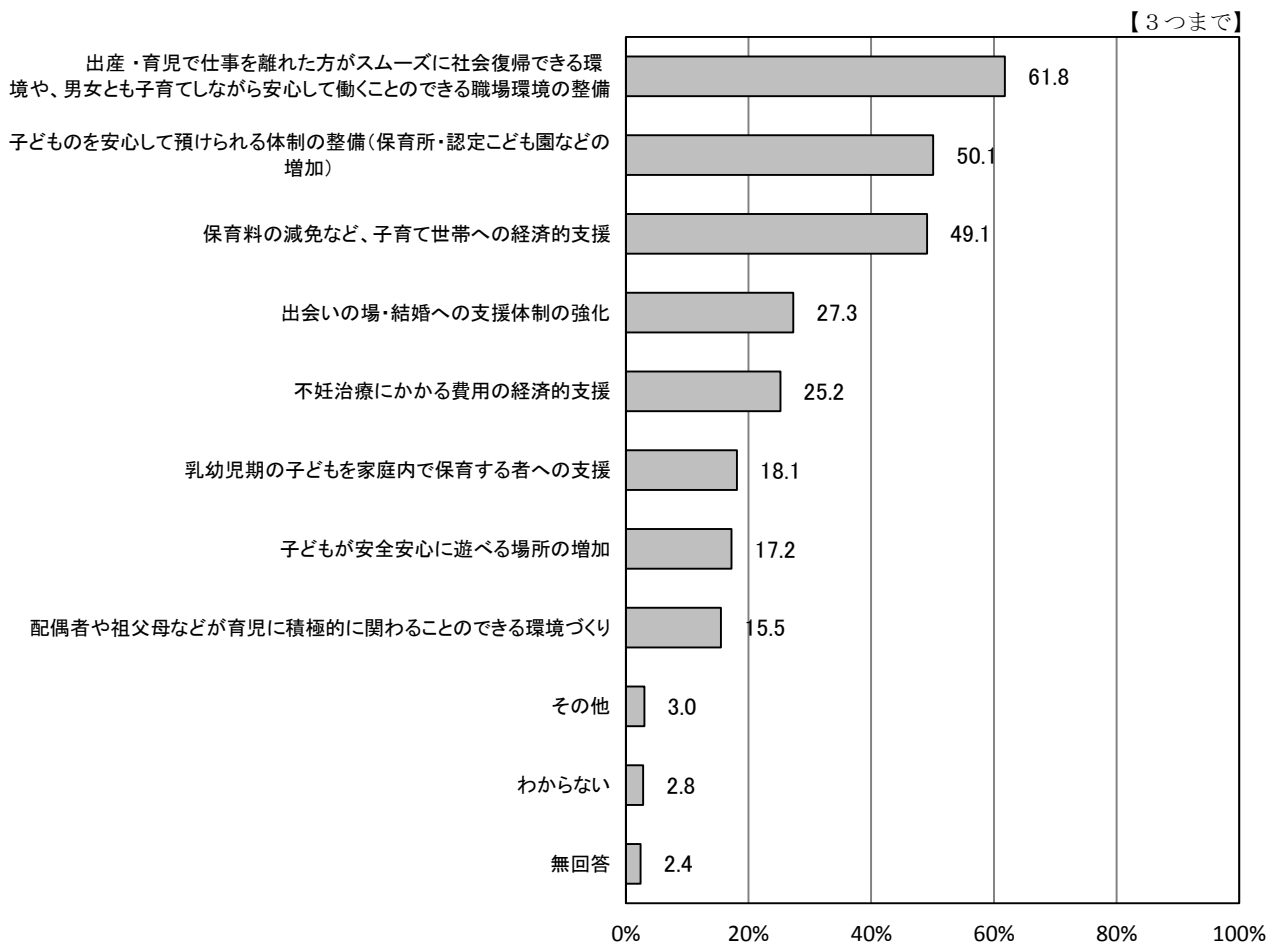
～『子育て王国とっとり』『とっとり子育て応援パスポート』については6割以上の認知度～



(2) 出生率を上げるために今後強化が重要だと思う項目（問8）

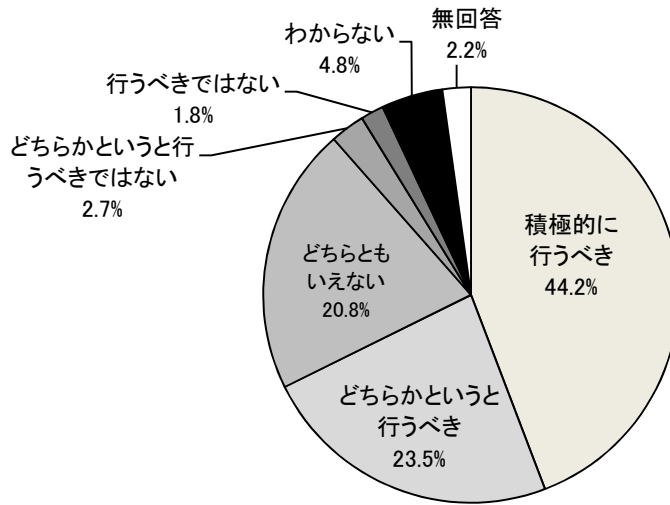
～出産・育児後のスムーズな職場復帰への環境づくりや、

男女とも安心して働き、子育てができる職場環境の整備について6割強が重要と回答～



(3-1) 鳥取県の婚活支援事業についての考え (問9)

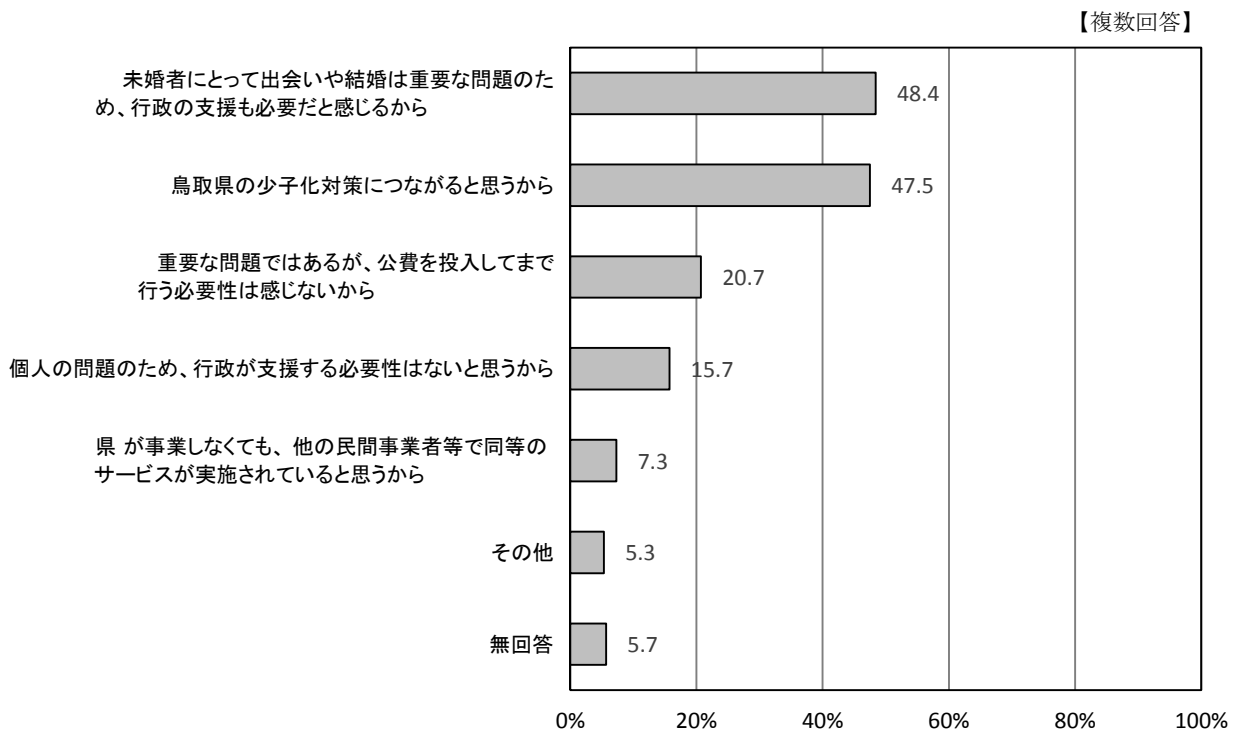
～『積極的に行うべき』・『どちらかというで行うべき』と6割が回答～



(3-2) 婚活支援事業を行うべきと回答した理由

～出会いや結婚は重要な問題で行政の支援も必要や、

支援が少子化対策につながると5割近くが回答～



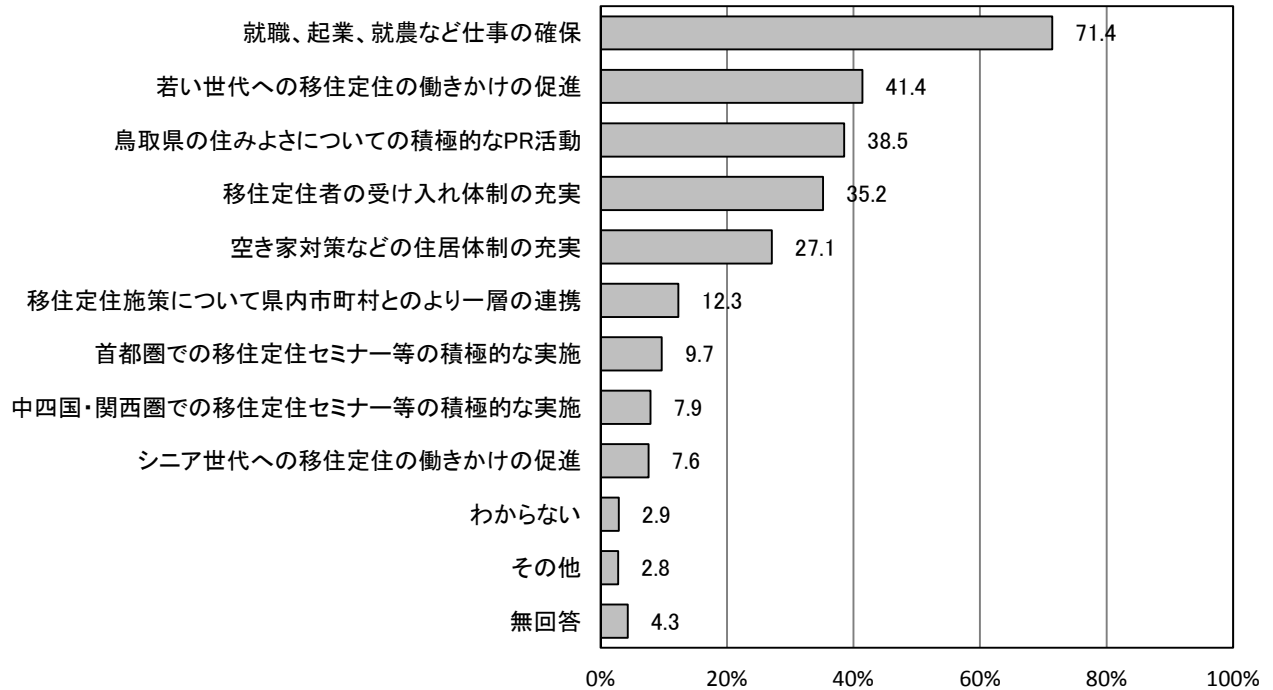
<移住定住に関する施策>

(1) 鳥取県の移住定住施策として強化が必要な施策（問11）

～就職・起業・就農などの仕事の確保が必要であると7割が回答し、

若い世代への働きかけも4割が必要であると回答～

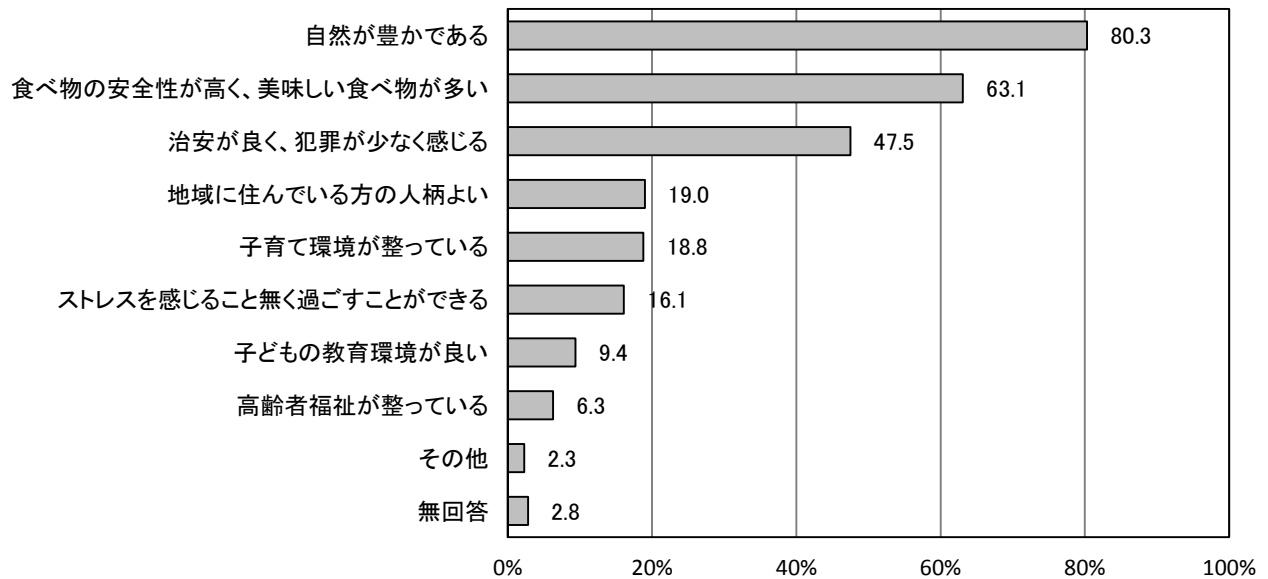
【3つまで】



(2) 鳥取県の住みよさを県外の方へアピールする項目（問12）

～『自然が豊かである』が8割、『食べ物の安全性が高く、美味しい食べ物が多い』が6割～

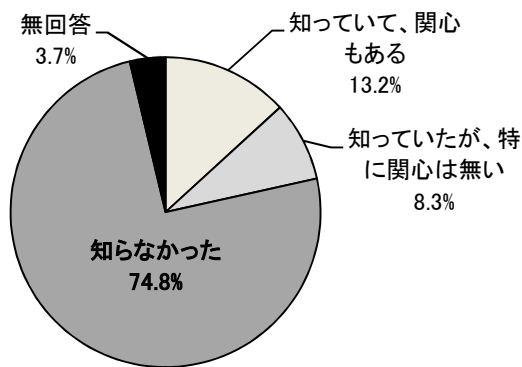
【3つまで】



<就業や雇用に関する施策について>

(1)『鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画』を知っているか・関心があるか（問14）

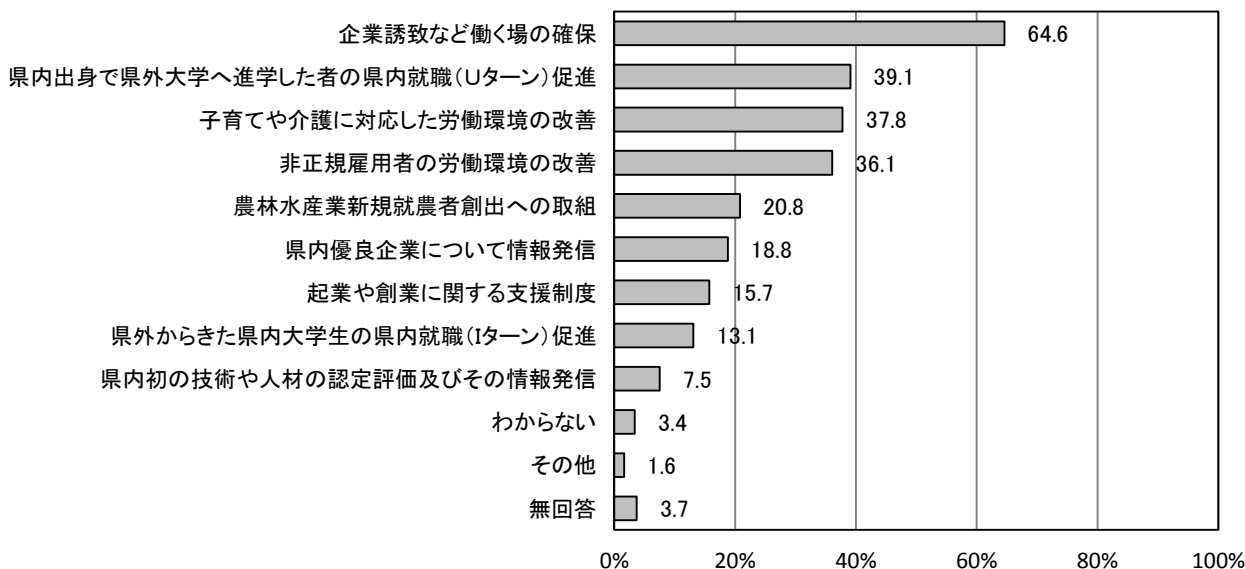
～『知らなかった』と回答の方が7割と認知度が低い～



(2)雇用や就業支援に関しての取組として強化が必要な施策（問15）

～企業誘致など働く場の確保を強化すべきと6割以上が回答～

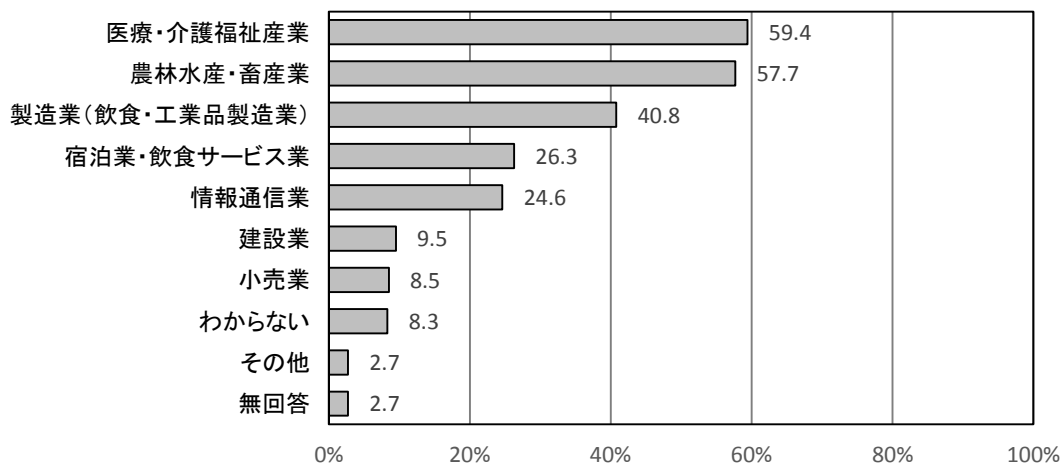
【3つまで】



(3)今後、鳥取県において必要となる産業分野(問16)

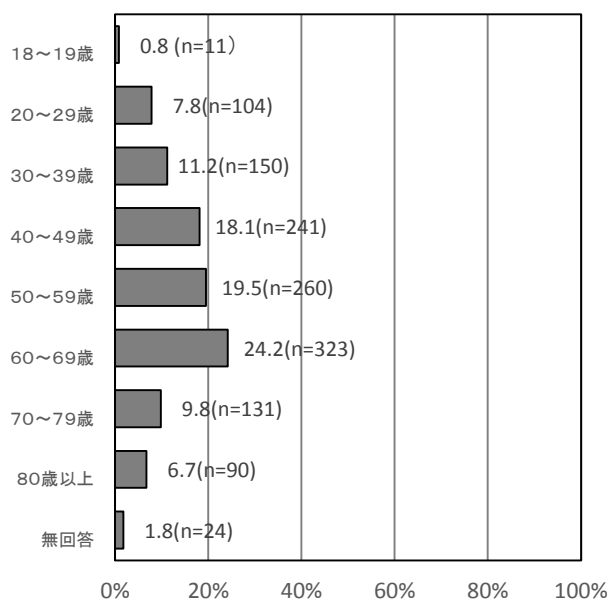
～今後の産業分野は、農林水産・畜産業や医療・介護福祉産業が必要と約6割が回答～

【3つまで】

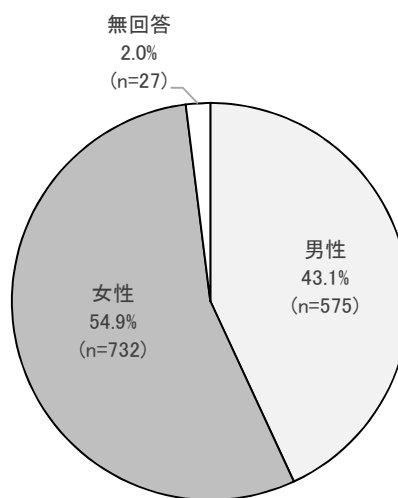


IV. 回答者の情報

(1)年代 (問18)



(2)性別 (問19)



(3)性別 × 年代

